

## 気密化には、相応の施工と性能確認を

快適な住まいをつくる時、室内で発生する熱—例えば人から出る熱や、調理・入浴から出る熱、家電製品から出る熱—だけを考えるなら、快適な家は簡単につくれます。しかし、家の外と中で熱の出入りをまったくなくすることはできません。そのために「断熱」・「気密」の設計・施工がされているのです。



断熱材にも長所・短所（特性）があり、その「特性を活かした施工がともなう」ことで熱の出入りが少なくなり、室内の温度のコントロールがしやすくなるのです。

室内温度をコントロールしやすくする「高断熱・高气密住宅」の基礎知識は本や雑誌にたくさん書かれており、正しいしいことばかりですが、それにとまなう断熱気密化施工（気密測定による性能確認まで）がされているかどうかが重要なのです。

温暖な地域の住まいにも高性能化（高气密化）が必要ですが、多くの工務店は、気密化は「開放的ではない」、「魔法瓶のような家には住めない」とか、気密性能が必要なことはわかるけど「温暖な地域ではそこまで必要ない」、「予

算にも限度がある」などと、中途半端（断熱材を入れるだけ、張るだけ）な施工になっている場合がほとんどです。熱の出入りが多い住まいは、いくら省エネルギーな設備を使用してもエネルギーのムダ使いをし、冬は寒く、非暖房室では結露が起きているのではないかと思います。

●マルフジフォーム工業有限公司  
代表取締役

藤井政則 ふじいまさのり



断熱業界にはや21年。断熱、気密、換気、冷暖房4つの視点から住まいの快適性実現のアプローチを行っている。「この環境、なんとかならんか!」という悲鳴に応じて日夜東へ西へ奔走中!

〈問い合わせ〉  
福山市千田町千田3183-1  
TEL.084-955-3433  
<http://www.marufujifoam.com>